

# 彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, November, 2009

課長 関 勉 T. Seki

幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 佐藤裕久 H. Sato

○11月の状況 (佐藤)

☆ P/2009 U6 (LINEAR)

IAUC 9090によると、10月27.43日 UT、LINEAR サーベイによって小惑星状の天体が発見され、小惑星センターの'NEOCP' webpage に掲載後、B. Satovski と T. Kryachko (Engelhardt 天文台 Zelenchukskaya 観測所、ロシア、0.3-mf/7.7 反射、10月28.1日 UT、8"の拡散したコマと p. a. 290° に30"の尾が見える)ら CCD 観測者によって彗星状であることがわかった。

10月30日、海外の彗星観測者メーリングリスト comets-ml にフランスの Francois Kugel (A77)は、LINEAR が発見する直前に 29P と 81P を撮影した画像の右上のトレイルは明らかに C/2009 U6 であることが確認できるとの投稿があった。

筆者は、彼のホームページに掲載されている10月24日(25日 UT)の画像にも写っていたため問い合わせをしたところ、10月25日 UT の位置観測データと既に25.19日 UT に発見していたが、測定に一貫性がなかったため MPC に送っていなかった旨のコメントが送られてきた。

10月31日、埼玉県上尾市の門田健一氏は彗星課メーリングリスト (以下 oaa-comet ML) に「佐藤英貴さんより連絡を受けて、Oct. 19 に上尾で観測した 81P のフレームを調べてみると、おおっ！小さな像が写っていました。中央付近の 81P だけ測定して、画像全体は見えていなかったようです。明るめにレベル調整してあったので、暗い天体には気が付きませんでした。MPEC U137によると、短周期彗星だったようです」との報告があった。

同日、筆者から oaa-comet ML に「気づいていれば、門田彗星の発見になったかもしれませんね。残念！それにしても、知られた彗星の周辺にこんな小さな彗星があるものですね」とのコメントに、同じく門田氏から「既知彗星を狙った狭い視野に、新彗星が飛び込んできたとは、ビックリでした。測定では目当ての彗星だけに注目していますので、搜索目的で画像を調べないと、見つけるのは難しいでしょうね」と応えた。

11月1日、筆者から oaa-comet ML に「…周期が7年を切りました。291の観測が2"以内に収まってきました」とのコメントと10月30日 UT、門田氏の観測を加えた31個の観測により改良した軌道要素を報告した。

☆ 169P/NEAT

11月23日 1:33、宮城県大崎市の遊佐徹氏から oaa-comet ML に「…海外のMLで169Pが「significantly brighter than expected」とあったので観測してみましたが、暗くてがっかりしました。低空のため淡い部分を捉え切れていない可能性もありますが、少なくとも9等台のイメージではありません…」との報告があった。24日 0:02、門田氏から「…Nov. 15のCCD全光度は15.7等した。背景の恒星が多く、星と星の間を移動する淡い像をなんとか測定しました。Nov. 23は明瞭な像で、15.0等に増光していました」と15等台で観測していたことが報告された。

スペインのJuan José González Suárezが、11月18.77日 UT、20-cm SCT×100で全光度9.2等と観測したとの報告に、世界各地で観測したCCD光度観測は、眼視で観測したGonzálezの光度よりはるかに暗く見積もられていた。

● 眼視等観測報告

C/2006 W3 (Christensen) (写真 a) 10月よりの続き

2009	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Oct.	11.47	9.2	3'	6	-	-	3/5	3/5	16×7-cmB	宇都宮章吾
	20.46	9.2	2.5	6	-	-	5/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
Nov.	5.45	9.5	2.5	4	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	14.43	9.8	2	5	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	23.42	9.8	2	5	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾

C/2007 Q3 (Siding Spring) (写真 b) 10月よりの続き

2009	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Oct.	20.83	9.8	1.5'	4	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	21.83	10.0	1.5	4	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	28.83	10.5	1.5	4	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	30.83	10.5	1	4	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
Nov.	19.82	11.7	0.5	3	-	-	3/5	-	79×30-cmL	永島和郎
	23.83	11.2	1.5	4	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	25.83	11.2	1.5	4	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	26.77	11.2	1.5'	5	1.8'	260°	4/5	3/5	EOSX2 *	張替憲
	26.84	10.8	2	4	5	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾

\* 200-mm f/2.8 lens 180秒露出

## 81P/Wild (写真c) 9月よりの続き

2009	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Nov.	19.80	11.8	0.4'	4	-	-	4/5	-	100×30-cmL	永島和郎
	26.77	11.8	1.1	6	1.2'	310°	4/5	3/5	EOSX2 *	張替憲
										* 200-mm f/2.8 lens 180 秒露出

## 88P/Howell 9月よりの続き

2009	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Oct.	11.45	8.7	4'	3	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	18.44	8.8	4	3	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	20.43	8.7	5	3	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	21.43	8.7	5	3	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
Nov.	5.43	9.0	4	3	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	14.42	8.8	4	3	-	-	4/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	23.42	9.0	4	3	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾

## 217P/LINEAR (写真d) 10月よりの続き

2009	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Oct.	16.77	9.8	2'	5	-	-	2/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	21.79	10.3	1	4	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	27.82	11.2	1	4	-	-	3/5	4/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	28.82	11.4	1	4	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	30.83	11.5	1	4	-	-	5/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
Nov.	19.67	12.2	0.4	2/	-	-	4/5	-	100×30-cmL	永島和郎

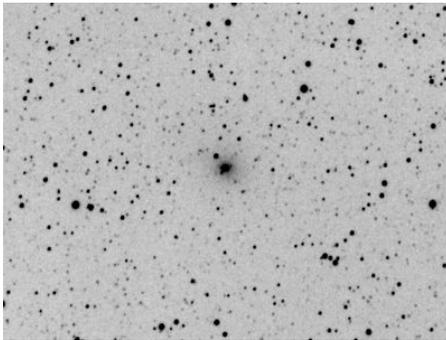
## ○その他 11月に発見された彗星

☆ P/2009 W1 (Hill) Rik E. Hill (LPL, 月惑星研究所)は、11月18.5日 UT、Catalina スカイサーベイのコース上に 0.68-m Schmidt 望遠鏡で得た CCD イメージから 18.5 等の彗星を発見した。4"-5"のシーイングに 30 秒露光を 3 枚重ねた画像には、拡散状で 7"-8"にまたがる小さな核状の集光と p. a. 約 300°に 20"-30"の微かな尾があった。19.4 日 UT には、Hill が 2"-3"のシーイングに 40 秒露光を 4 枚重ね、拡散状で 4"-5"にまたがる核状の集光、1"-2"のコマ、p. a. 約 300°に 10"-12"に広がった 20"-30"の尾を観測した。小惑星センターの 'NEOCP' webpage に掲載後、F. Fratev (Zvezdno Obshtestvo 天文台, ブルガリア, 0.35-m f/3.4 反射)ら CCD 位置観測者によって彗星状として観測された (IAUC 9095, 2009 Nov. 19)。

C/2009 W2 (Boattini) Andrea Boattini は、11月23.48日 UT、Catalina スカイサーベイのコース上に 0.68-m Schmidt 望遠鏡で得た CCD イメージから適度に集光した幅約 7"のコマで尾のない 19.5 等の彗星を発見した。11月23.5日 UT、R. E. Hill が、Mt. Lemmon の 1.5-m 反射により 2"

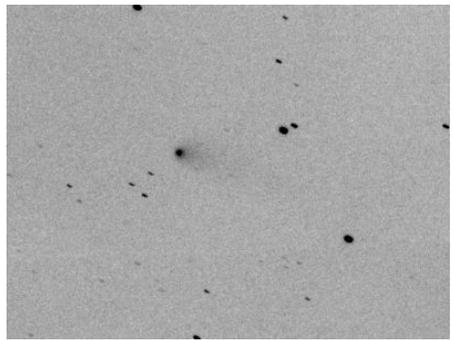
のシーイングで得た 60 秒×4 枚の画像から明るい核状の集光で小さな (1"-2") コマと短く p. a. 約 80° に 6"-7" の広い尾があった。翌 24. 44-24. 46 日 UT には 4"×5" の核状に集光し、東西に細く 1" のコマが取り巻いており、p. a. 90° に 30" の広く拡散した尾があった。小惑星センターの 'NEOCP' webpage に掲載後、11 月 24. 5 日 UT、H. Ryan と E. V. Ryan (Magdalena Ridge 天文台, Socorro, ニューメキシコ州, 2. 4-m f/8. 9 反射) は p. a. 90° に尾を観測している (IAUC 9096, 2009 Nov. 24)。

その他明るい彗星は、22P/Kopff, 29P/Schwassmann-Wachmann, P/2009 Q4 (Boattini), 118P/Shoemaker-Levy 等であった。



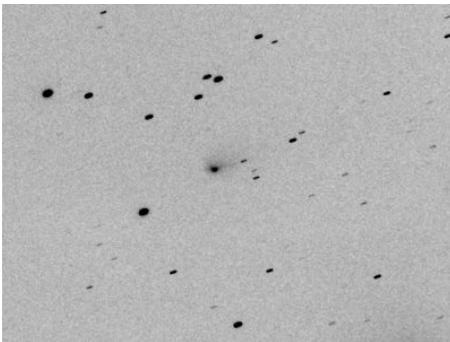
(写真 c) 81P/Wild 2009, 11, 29

2h40. 0m-50. 0m (JST) exp. 60s × 7 TOA130+CCD 三重県伊賀市上野 田中利彦氏



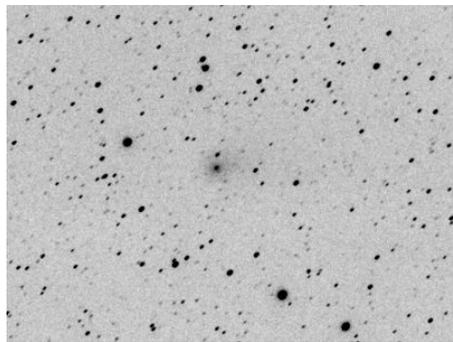
(写真 d) 217P/LINEAR 2009, 11, 28

23h20. 0m-30. 0m (JST) exp. 60s × 7 TOA130+CCD 三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 a) C/2006 W3 (Christensen) 2009, 11, 14

18h42. 0m-52. 0m (JST) exp. 60s × 7 TOA130+CCD 三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) C/2007 Q3 (Siding Spring) 2009, 11, 29

3h00. 0m-10. 0m (JST) exp. 60s × 7 TOA130+CCD 三重県伊賀市上野 田中利彦氏